



民意は示された、と考えます



おかしな話ですが、沖縄県名護市長選で現職の稲嶺進さんが圧勝しました。まさに名護市民の「民意」が示された結果です。ここまでは良い結果だと喜んでいました。ところが、「民意」の分からない人たちがいるようです。

選挙で辺野古への普天間からの基地移転、埋め立てによる新基地建設で民意を問うのだ、と言っていた人々です。

少なくとも、安倍晋三首相、石破茂自民党幹事長は素直に選挙結果を受け止めるべきでした。それでなくとも振興基金500億円、こんな莫大なお金で移転を買おうとしていたのですから。しかし、「お金で売らない」という民意・拒否が示されたのです。当選された稲嶺進さんは選挙前も、選挙後も、そんな金がなくとも市政に問題はない、そう言明していたのです。

さらに恥を晒したのは仲井真沖繩県知事でした。選挙結果を受けたあとのインタビュウで「アレッという感じ」だといいます。このような言明は、権力者にありがちな独裁者の意識があると思います。「イエスマン」だけが側近だったのでしょう。民意がわからなかったのです。

もう一つ不可解なのは、木原稔防衛政務官の発言です。「永田町の民意でいうと、自民党は多数派だ」です。

困ったことにこの連中も民意については分かっているのです。市民・国民は小さな声だが選挙でしかその意思を表現しないのです。その結果が稲嶺さんの勝利だったはず。この『月刊まなぶ』が発刊される2月10日、東京都知事選挙の結果が出ていると思います。確かな「民意」が示される結果に向かい奮闘しましょう。

労働大学事務局長 飯田邦雄